

海外短信



～ インドネシア ～

インドネシアで開所式
株式会社メイドー

メイドーの海外における3つ目の生産拠点として、インドネシアに設立したPT. MEIDOH INDONESIAの開所式を2015年8月28日（金）に執り行いました。

交通渋滞で名高いジャカルタから60km離れたカラワン県のスルヤ・チプタ工業団地にある当事業所は晴天に恵まれ、式典には地元の労働省局長、警察署長、地区長、連帯区司令官、TMMINの野波社長を始め、総勢133人に出席していただきました。

開会にあたり、メイドー社長の長谷川は「インドネシアの自動車市場が拡大する中、トヨタグループさんの現地生産が拡大して行くという予測のもと設立を決断した。インドネシアの歴史と文化をよく理解し、法令を遵守して、地域住民の皆さまとの融和を図って行く。また、日本のモノづくりの技術を移転すると共に人材育成と継続的改善により、お客様や地域の皆さまにとってなくてはならない企業になりたい」と挨拶しました。

その後、記念写真撮影、記念碑への署名、記念品贈呈、イスラム教僧侶による祈り、テープカット、工場見学などを行いました。

開所式の金曜日はイスラム教徒にとっての集団礼拝の日でした。そこで式典会場とは別にお祈り会場を設置しました。お祈りと工場案内の時間をうまく組み合わせることで、出席者を工場案内で待たせることなく、日本人にもイスラム教徒にも気持ちよく式典に参加していただきました。

式典を通して当事業所に対する取引先と地元の期待がひしひしと伝わってきました。その期待に応えるためにも会社の成長に向けて、社員が一致協力して頑張っていきたいと決意を新たにしています。

インドネシア・カラワン県は面積17,500^{km}、人口約216万人、企業数1,395社。かつて穀倉地帯でしたが今、急速な工業化が進んでおり、7つの工業団地があります。スルヤ・チプタ工業団地には多くの日系企業が入居しています。

当事業所は自動車用の高強度ボルトを一貫生産できる設備を備え、社員88名（内日本人スタッフ6名）でトヨタ車、日野車、ダイハツ車向けに量産しています。

インドネシアへ出張の際は、ぜひお立ち寄りください。



【開所式当日の正門】



【TMMIN 野波社長挨拶】



【労働省局長挨拶】



【記念写真撮影】